

## 2 | 脱炭素 (2)

### 2040年までのエネルギー政策(PEP2040)

- 「2040年までのエネルギー政策 (PEP2040)」は、ポーランドにおいてエネルギー転換のための枠組みを設定する戦略的文書であり、EUのエネルギーおよび気候目標に合致するための解決策を提示している。

### PEP2040の主な目標

- 再生可能エネルギー  
最終エネルギー消費全体に占める再生可能エネルギーの割合を少なくとも23%まで引き上げる。
  - 電源構成の少なくとも32%
  - 暖房の28%
  - 運輸の14%
- 脱石炭
  - 2030年までに電源に占める割合を56%まで引き下げる。
  - 天然ガスは移行期の燃料と位置づけ (2049年までに脱石炭を完遂)
- 洋上風力の発電容量
  - 2030年 5.9 GW
  - 2040年 18 GW
- 太陽光の発電容量
  - 2030年 27 GW
  - 2040年 45 GW
- 原子力発電
  - 1~1.6GWの容量となる1号機を2023年までに稼働
  - 以後2~3年ごとに計6基を稼働させ、2043年には合計7.8GWを確保

## 2 | 脱炭素 (2)

### 2040年までのエネルギー政策(PEP2040)

- 「2040年までのエネルギー政策 (PEP2040)」は、ポーランドにおいてエネルギー転換のための枠組みを設定する戦略的文書であり、EUのエネルギーおよび気候目標に合致するための解決策を提示している。

### PEP2040の主な目標

- 再生可能エネルギー  
最終エネルギー消費全体に占める再生可能エネルギーの割合を少なくとも23%まで引き上げる。
  - 電源構成の少なくとも32%
  - 暖房の28%
  - 運輸の14%
- 脱石炭
  - 2030年までに電源に占める割合を56%まで引き下げる。
  - 天然ガスは移行期の燃料と位置づけ (2049年までに脱石炭を完遂)
- 洋上風力の発電容量
  - 2030年 5.9 GW
  - 2040年 18 GW
- 太陽光の発電容量
  - 2030年 27 GW
  - 2040年 45 GW
- 原子力発電
  - 1~1.6GWの容量となる1号機を2033年までに稼働
  - 以後2~3年ごとに計6基を稼働させ、2043年には合計7.8GWを確保